

# 日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1996年(平成8年)

4月 17日

第 1 号

〒113 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館 電話 03-3251-4606

FAX 03-3251-4853

## ご 挨拶

理事長 石川 忠久

早いもので、阪神大震災のお見舞の挨拶をしてから一年が過ぎ、私の任期も折返しを迎えた。この一年、まず大過なく過ごすことができたのは偏えに会員各位のお力添えのお陰と感謝申し上げる次第である。

立命館大学での大会を成功裡に終えることができた(寛代表ほかの皆さまには更めて多謝)あと、最も大きな出来事は、年が明けてから行われた学術専門委員の改選である。

昨秋の大会で一部手直しをした規約の下での初めての選挙であり、その主旨である委員の“若返り”と、前号の会報でも訴えた“女性の進出”が、どのように実現するか、結果が注目された。

結果は、相変らず低い投票率で、“女性の進出”はゼロ、“若返り”は一部実現した。

「哲学・思想部門」、「語学・文学部門」それぞれ8人選んだあと、残りの「部門にかかわらない」9人のうち、まず4人を票数順に決め、あとの9人の中から5人を選ぶ、というのが今度の新しい試みである。

結局、長老お三方に道を譲っていただいて新人を補うこととなったが、文部省の科研費の審査員に推薦するだけの要員を確保できたかどうか。それならいっそ、役員の定年を65歳にしまえ、という議論も起こってくるだろう。学術専門委員の役割は科研費の審査ばかりではないから、定年引下げの問題は更にじっくり議論を重ねなければなるまい。

折角規約を改めたばかりのことであり、いま暫くはこのまま様子を見るべきだろうが、それにしても投票率(約13パーセント)の低さは何とかならないものか。

投票率の低さと関わりがあるのかどうか、会員の数は増える一方である。会員が増えると事務量が当然増え、経費も嵩んでくる。そこで、学会事務センターのような外部の専門機関にすっかり任せの方がよくはないか、という議論が起こってくる。今の学会規模では会費の大幅値上げをしないと、この方法は難しい。そこで、他の近縁の学会と組んで、学会事務の専任職員(アルバイト)を雇う方法が浮上してくる。これなら、会費の小幅値上げで済みそうである。今の会費になってだいぶ経つことでもある。若手研究者二人を幹事としてフルに使っている(それで足りない)現在のやり方は、そろそろ考えるべき時期に来ているのではないだろうか。

選挙制度の改革のあと、もう一つの改革として、ちょっとアドバランを上げておく次第である。

◎役員の変更について

平成8・9年度の学術専門委員は、選挙の結果下記の会員がそれぞれ当選されました。

(敬称略、50音順)

池田知久	伊藤虎丸	石川忠久	石川三佐男	内山俊彦
大島正二	加地伸行	笈 文生	興膳 宏	小南一郎
合山 究	佐藤 保	坂出祥伸	戸川芳郎	中嶋隆蔵
福井文雅	町田三郎	松浦友久	丸尾常喜	丸山 昇
三浦國雄	溝口雄三	村上哲見	村山吉廣	吉田公平

◎役員の上昇当選について

会則13条により、伊藤漱平(関東地区)会員が理事を退任、伊藤漱平(関東地区)・清水茂(近畿地区)会員が評議員を退任、後任として選挙規約に基づき、4月1日付で、理事に村山吉廣(関東地区)会員、評議員に池田知久(関東地区)・一海知義(近畿地区)会員の昇当選が決定いたしました。

◎〈学会展望〉用資料の送付について

『学会報』第48集の編集担当校は、新たに日本大学(代表今西凱夫会員)に委嘱されました。第48集の〈学会消息〉欄の原稿を、日本大学文理学部中国文学研究室(〒156 東京都世田谷区桜上水3-25-40)宛にお送りください。資料は平成7年1月から12月までのものとします。

『学会報』第48集の〈学会展望〉執筆担当校は以下の通りです。

哲 学 東北大学文学部中国哲学研究室・代表：中嶋隆蔵会員  
(〒980 仙台市青葉区川内)

文 学 広島大学文学部中国語学文学研究室・代表：藤原尚会員  
(〒724 東広島市鏡山1-2-3)

語 学 大阪外国語大学中国語学研究室・代表：佐々木猛会員  
(〒562 大阪府箕面市大字栗生間谷2734)

〈学会展望〉は、著書及び論文抜刷などの送付とは別に、会員が申告していただくことになっております。未申告の会員は、用紙に記入の上、4月末日までに上記各研究室宛お送りください。掲載資料は平成7年1月から12月までのものとします。郵送費は各自ご負担願います。なお、申告が無い場合は、掲載漏れとなることがありますのでご注意ください。また、研究論文目録として掲載不適当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

◎本年度の大会について

本年度(第48回)の学術大会は、神奈川大学が準備会を担当され、10月12日(土)・13日(日)に行われます。(詳細は同封の大会準備会からの案内状をご参照ください。)

◎新年度の会費納入について

新年度にあたり会則第8条に定められた学会費の納入をお願い致します。同封の振替用紙をご利用ください。なお、毎年学会費未納分の請求に対するお問い合わせに接しますが、郵便振替でない場合は確認書類（領収書のコピー）の提示を必要とします。そのためにも納入は郵便振替をご利用ください。また、大会時の徴収は、混乱を避けるため行いません。今回生年月日及び所属の記入欄を設けました。ご記入ください。

◎会員資格の停止等について

会費未納が2年に達した方には『学会報』の送付をいたしません。また4年にわたって滞納されますと、会員資格が一時停止されます。

◎住所の変更について

新名簿作成中につき、氏名・住所・電話番号・所属等の変更は、すみやかにご通知ください。特に所属の変更は、地区の移動を伴うことがありますので、ご注意願います。また、大学院等所属の明記にご協力ください。留学される場合は、予定期間と併せて国内連絡先をお知らせください。（通知は書面にてお願い致します。）

◎平成7年度文部省科学研究費採択状況一覧（補遺）

一般研究（B）

薩摩藩所蔵の漢籍に関する総合的研究（230万円） 東 英寿（鹿児島大学）

科学研究費採択状況一覧は『文部省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧』に基づき事務局にて作成しております。その為、遺漏等が発生することがあります。科学研究費の申請が採択された会員は、お手数ですが題目・金額・所属等を事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。

訃 報

昨年度会報第2号発行以後、次の4名の会員が逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

巨勢 進（関東）

澤口 剛雄（関東）

三沢 辰彌（関東）

楊 福綿（海外）

◎新入会員の紹介について

今回の新入会の審査は、5月19日開催の理事会で行われます。つきましては、入会申込者のご紹介は、5月10日必着にてお願い致します。期限を過ぎて到着した場合は、10月12日開催の理事会での審査を受けることになります。

◎当学会の連絡先は、次の通りです。なお、学会幹事は常駐しておりませんので、ご連絡は書面にてお願い申し上げます。

〒113 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館 FAX 03-3251-4853